

News Release

2021年2月
一般社団法人日本能率協会



AI やロボットなど人手不足解消や生産性向上に寄与する次世代技術、
感染症対策製品・サービスが多数登場！

ホスピタリティ、フードサービス 日本最大の商談専門展示会「HCJ2021」開催

— 2月16日（火）～19日（金）、東京ビッグサイトで —

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2月16日（火）から19日（金）まで、東京ビッグサイト（東京都江東区有明 3-11-1）で、ホテルやレストランなどホスピタリティとフードサービス業界における国内最大の商談専門展示会「国際ホテル・レストラン・ショー」「フード・ケータリングショー」「厨房設備機器展」（総称「HCJ2021」、以下 HCJ）を開催します。

昨年から続く新型コロナウイルスの影響で、ホスピタリティ・フードサービス業界は厳しい状況に置かれています。こうしたなか、人手不足や業務の効率化、感染症対策に応える製品・サービスが期待されています。また、SDGs の観点からも対策が急務となっている環境保護や食品ロス削減など解決すべき課題も多くあります。

今回の HCJ では、「With コロナにおける安心、安全なサービス環境の確保」「ニューノーマル時代でサービス業界が生き残るための情報発信」をポイントに、喫緊の課題である感染症対策に向けた製品・サービスのほか、コロナ禍で脚光を浴びる「グルメデリバリー」にも注目。また、人手不足解消や生産性向上に寄与する AI やロボットなどの次世代技術や環境に配慮したサステナブルな製品が一堂に会するなど、同時開催展含めて約 590 社 1515 ブース（2021 年 1 月 27 日時点）が出展します。

【HCJ2021 開催概要】

- 会 期：2月16日（火）～2月19日（金） 10：00～17：00（最終日は16：30まで）
 会 場：東京ビッグサイト 西展示棟 1～4 ホール、南展示棟 1～4 ホール（江東区有明 3-11-1）
 主 催：▼第 49 回国際ホテル・レストラン・ショー
 一般社団法人日本能率協会／一般社団法人日本ホテル協会／一般社団法人日本旅館協会／
 一般社団法人国際観光日本レストラン協会／公益社団法人国際観光施設協会
 ▼第 42 回フード・ケータリングショー
 公益社団法人日本給食サービス協会／一般社団法人日本弁当サービス協会／
 公益社団法人日本メディカル給食協会／一般社団法人日本能率協会
 ▼第 21 回 厨房設備機器展
 一般社団法人日本厨房工業会／一般社団法人日本能率協会

入 場 登 録：ご来場には、<https://c.pregis.net/202013.HCJ2021ja/> より事前登録が必要です

入場登録料：無料（ただし、一般の方、16 歳未満の方は入場不可）

展 示 規 模：約 590 社 / 1515 ブース（予定）

U R L：<https://www.jma.or.jp/hcj/>

※HCJ2021 公式サイトにプレス事前登録フォームを開設しました。事前登録をお願いします。

U R L：<https://www.jma.or.jp/press/>

※本展の新型コロナウイルス感染対策については以下をご確認ください。

U R L：<https://www.jma.or.jp/corona/exhibition.html>

【展示会に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター 佐藤 〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22
 TEL：03-3434-1377 E-mail：hcj@jma.or.jp

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報室 野口、田部
 TEL：03-3434-8620 E-mail：jmapr@jma.or.jp

今回の見どころ

1. 旅のスマート化や With コロナに向けた 3 つの新企画

「宿泊業のスマート化研究会」「感染症対策ゾーン」「グルメデリバリー」

① 「宿泊業のスマート化研究会」

(南展示棟 ブース番号：S3-M06)

日本のサービス産業は、2030 年までに 400 万人の人手不足が見込まれていますが(出典：パーソル総合研究所 労働市場の未来推計 2030)、労働生産性向上のための対策が遅れているのが現状です。これに加え、コロナ禍では 従業員とお客様の「非接触」がキーワードとなっており、DX (デジタルトランスフォーメーション) の導入が急務となっています。このような課題をロボティクスやビッグデータ、AI などの次世代技術で解決するための企画を実施します。

「宿泊業のスマート化研究会」では、AI・IoT・ICT 技術など先端技術を用い、「産学連携」「アプリ連携」をキーワードに、「未来における宿泊業の在り方」を具現化しました。

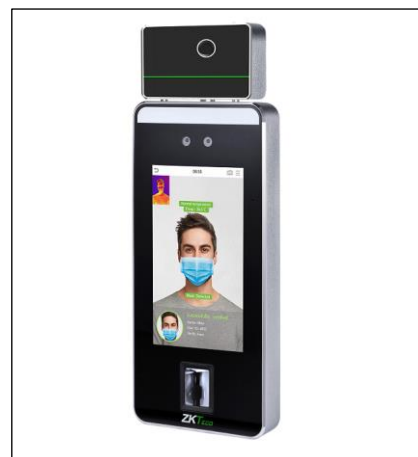
客室設備を自分のスマホで操作し、「非接触」「省人化」「顧客接点強化」を実現するスマート化ソリューション (株)Live Smart)、「非対面・非接触」を実現し、カギ対応の時間を最小にするスマートロック (株)構造計画研究所)、ウォークスルーで顔認証及び体表面温度、マスク検知が行える「EG-Keeper」(株)WDS)をはじめとする 6 社の製品、ソリューションを融合させ、すべてを非接触で行える宿泊施設のモデルを実際にお見せします。



② 「感染症対策ゾーン」(西展示棟 2 ホール)

新型コロナウイルス感染症拡大により、宿泊・外食施設では感染症対策が喫緊の課題になりました。With コロナ社会では、安全・安心なサービスの提供が選ばれる施設の条件になり、徹底した感染症対策を行うことは企業のブランディング向上にも繋がります。

会場では、サーモグラフィ、検温器、空気清浄機といった定番製品をはじめ、イベント会場や店頭、家庭に設置し、ライトの光で殺菌する「殺菌灯」など新しい切り口の製品も紹介します。また、自動チェックイン、セルフオーダーやパーティションなどの展示、会場内でのセミナーを通じて感染症対策の課題解決に向けた情報発信をおこないます。



非接触で検温可能な AI 顔認証端末

③ 「グルメデリバリー」(西展示棟 4 ホール)

コロナ禍の巣ごもり需要で「グルメデリバリー」の需要は高まっています。飲食店の営業自粛や営業時間短縮の要請が出る中、宅配や持ち帰りに商機があると判断し、新規参入する飲食店も増えています。会場では、モバイルオーダーシステムやフードデリバリー温熱シートなど、グルメデリバリーに関わる製品、サービスを紹介します。

2. サービス産業向け SDGs 対応商品・サービスを一堂に展示！(西展示棟 4 ホール)

国連が掲げた SDGs (持続可能な開発目標) の 2030 年までの目標達成に向け、サービス産業も対応に乗り出しています。しかしながら、何から取り組めばよいのか手探り状態な企業が多いのが現状です。

本企画では、飲食関連製品 (ストロー、カトラリー、おしぼり、油・液体吸収剤)、食品ロス関連 (在庫管理システム、生ごみ処理機、AI 売上予測)、省エネ設備・電化製品 (太陽光発電設備、LED 照明、空調設備、浴槽設備) など、SDGs に対応する商品・サービスを一堂に展示し、幅広い選択肢を提供する場を作ります。

注目出展企業・製品のご紹介（一部抜粋）

出展企業・製品は公式ホームページの「出展者検索サイト」で公開しておりますので、是非ご覧ください。

https://www.jma-buyers.com/hcj_webguide/

■感染症対策、次世代技術、スマート化（非接触・非対応）製品

出展者	コネクター・ジャパン【ブース番号：W4-D16】
出展製品	三密代官
「三密代官」は、宿泊施設に向けた 3 密対策 LINE システム。IoT と BLE（Bluetooth Low Energy）の技術を活用することで、館内施設の混雑状況を検知し、宿泊者のスマホから LINE によって可視化するシステム。接触機会の低減し感染リスクを回避し、顧客満足度の向上にも貢献します。	



出展者	ブレイン【ブース番号：S2-J14】
出展製品	AI 画像認識フルセルフレジ-FoodScan
画像認識により食器・料理を画像認識しフルセルフで決済を行うカフェテリア用のセルフ精算システム。電子マネー決済との併用で、お会計の無人化と高速化を実現します。社員食堂や学生食堂でお使いいただけます。	



出展者	A-ttention/英光ライティング【ブース番号：W2-R18】
出展製品	公共施設イベント会場設置用殺菌灯、小売・飲食店設置用殺菌灯、家庭用向け電源対応殺菌灯
強力な殺菌線を効率よく照射し、ウイルス、細菌を死滅させます。世界で猛威を振っている新型コロナウイルスへの対策ははじめ、今後のウイルス対策にも非常に有効です。イベント会場や食品加工工場、病院から一般家庭まで幅広い分野で利用が可能です。	



出展者	アコモ【ブース番号：W4-B21】
出展製品	タッチレス チェックイン/アウト サービス
宿泊施設・観光地で利用可能なタッチレスチェックインシステムです。人と人との接触を避けるため、お客様やスタッフを感染症から守ることができ、同時に、ニューノーマル時代の新しい業務効率を実現します。	



出展者	アート開発【ブース番号：W4-B17】	
出展製品	「多機能混雑状況発信サービス」、インフォメーションシステム「EAPTS Hybrid」ほか	
飲食店などのお店や宿泊施設の混雑状況をお客様にお届けする「多機能混雑状況発信サービス」、非接触対応を実現するインフォメーションシステム「EAPTS Hybrid」、近隣観光情報を提供する観光ガイドテレビチャンネル「e旅ガイド」などを紹介します。		
出展者	構造計画研究所【ブース番号：W4-E23】	
出展製品	「RemoteLOCK」、「RemoteLOCK OFFICEup」	
世界初の Wi-Fi 型スマートロック「RemoteLOCK」は、解錠を暗証番号で行うため操作が簡単で、利用者が入室に手間取ることはありません。特定の時間帯だけ有効な暗証番号が発行できるので、施設のセキュリティが格段に向上します。		
出展者	WDS【ブース番号：S3-M06】	
出展製品	EG-Keeper	
「EG-Keeper」は、超高速エッジ AI チップによる顔認識・体表面温度測定・マスクチェック装置です。最先端 AI 技術で、瞬時に顔認識と体表面温度測定。体表面温度測定精度は±0.2℃の正確さ、顔認識の精度も高く、マスクの他に、性別・年齢・メガネ・帽子・ヘルメットなどの検出や表情の認識も可能です。		
出展者	アルメックス【ブース番号：W4-B02】	
出展製品	セルフ式チェック KIOSK、非接触鍵、発熱検知・顔認証 AI カメラほか	
QR コードや顔認証を用いた非対面・非接触のチェックインからチェックアウトまでの一連の流れを体感できる製品や、スマートフォンから客室設備の操作やコンテンツ再生ができる新型客室テレビシステム「IoT TERMINAL」、顔発熱検知機能を持つ顔認証 AI カメラ「Cyphy-Gate」などを展示します。		

HCI2021 プレス登録・プレスルームのご案内

ご取材にあたってはプレス登録が必要です。

新型コロナウイルスの感染対策および円滑な入場手続きのため、事前のプレス登録へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「取材に際してのお願い」「プレスリリース」「会場案内図」をプレスキットとしてお渡しします。

事前登録：「取材お申込みフォーム」からご登録ください。

<https://www.jma.or.jp/hcj/press> <https://www.jma.or.jp/press/>

当日登録：取材前にプレスルームで受け付けます。

※展示会入場人数制限等の都合上、入場をお待ちいただく場合があります。
ご了承ください。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材／編集／報道に関わる方が対象です。

報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております（上記の方は、一般登録でご入場いただけます）。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

■プレスルームの開設日時、場所

開設日時	2021 年 2 月 16 日（火）～2月 19 日（金） 9:30～17:00（最終日は 16:30 まで）
場所	東京ビッグサイト 西展示棟 1 ホール 2 階 商談室(3)(4)

■プレスルーム地図

